

## 2. 安全衛生・ユニバーサルデザインについて

### 1. 各台計数機の導入推進(傷病予防・緊急時の避難経路確保)

1996年、ひまわりは北海道のパチンコホールで初めて各台計数機を篠路店・北見店に導入しました。このシステムは各遊技台で持玉を計測し、情報をカードに記録するシステムのため、玉箱がありません。

パチンコホール業界では玉箱をたくさん積んで出玉をアピールする事が常識でしたが、「地震や火災など万が一の場合の避難経路確保」「お客様の台移動がラク」「重たい玉箱を持たずに済むので、お客様や従業員のケガや病気を防げる」などの観点から導入をしましたが、当時は業界では普及に至りませんでした。2007年に他社より新製品が発表され、当社の岩沼店に全国で初導入をしました。この製品は業界でも大きな注目を集め、各台計数への再評価につながり、後続製品が次々と開発されました。

ひまわりではこのシステムの導入を推進しており、2022年6月の時点で、全店のパチンコ全台へ導入が完了、パチスロメダル用各台計数システムの導入も進めています。(当施策は防災対応の項目にも記載しています)

### 2. 献血サポーター登録(能代店・大曲店・八戸店・五所川原店)

日本赤十字社によると、「献血によって集められた血液の有効期限は21日間しかなく、そのためにも継続的な献血活動が必要不可欠。」とされています。

2008年より秋田県の能代・大曲店、2012年より青森五所川原店・八戸店が日本赤十字社の「献血サポーター」制度に登録、年に数回、店舗駐車場にて、従業員やお客様の協力のもと、継続的に献血活動を実施しています。2022年6月には日本赤十字社秋田県支部より大曲店に感謝状をいただきました。

なお道内では2021年4月に美幌店、6月と7月に帯広店・柏台店・音更店、11月に清田店、2022年1月・2023年3月には豊平店、2月には真駒内店でも献血活動を実施しました。

### 3. AED配置と救命講習(全店)

2008年より全店舗にAED(自動体外式除細動器)を備え付け、各店舗の従業員が地元消防署による救命講習を受講しています。これまでに道内・東北地域でそれぞれ数例、利用事例がありましたが、無事にお客様が回復された事を確認しています。北上店では迅速な救命活動に対して地元消防組合より表彰をいただきました。

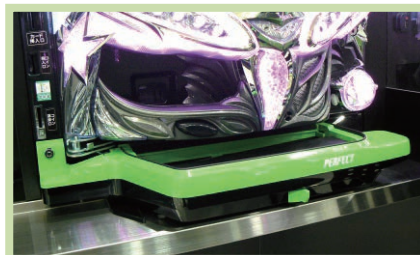
### 4. 感染症(新型コロナ)対策マニュアル

お客様や従業員への感染症(インフルエンザや感染性胃腸炎など。2020年には新型コロナ)への感染防止の観点から、感染症の基礎知識や、従業員に発症者が出た場合の対応手順を社内マニュアルに定め、感染の拡大防止に取り組んでいます。

初期の各台計数システム



現在の各台計数システム



献血サポーター(秋田・青森4店舗)



AEDを使った救命講習(札幌エリア8店舗)



救命活動への表彰(北上店)



## 5. 受動喫煙防止への取組

国内の喫煙者人口は1966年をピークに減少を続けていますが、北海道・東北地域は全国でも喫煙者比率が高く、「ホールでの煙草の煙やニオイ」への不満・不安を抱かれる方も多数いらっしゃいます。

受動喫煙防止のため、これまでに遊技台間に「分煙ボード」と遊技台上部や天井、各遊技台間に空気清浄機の導入を推進してきましたが、2020年4月の健康増進法改正による全面禁煙化において、全店のホール内と従業員休憩室内に喫煙ブースを設置し、分煙環境を整備しました。

喫煙習慣の有無に関わらず、より清浄な環境でご遊技がお楽しみいただけます。

## 6. カラーユニバーサルデザイン

周囲の方と違う色の認識をされる色覚をお持ちの方は国内に320万人いるといわれています。

弊社のウェブサイト、当CSRはこうした方々でも文字やデザインが判読できるように配慮がされたものとして「NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構」の認定をいただいています。

空気清浄機と分煙ボード



喫煙ブース(新琴似店)



CUDマーク



